

平成29年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 西 脇 中 学校
校長氏名	北 垣 有 信
作成日	平成 30年 2月 10日

1 教育目標

共に 豊かに 生きる

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<p>◎家庭との連携を密にし、保護者や地域に信頼される開かれた学校をめざす。</p> <p>◎地域の共育コミュニティ等と積極的に交流し、地域と共に育つ学校をめざす。</p>	<p>◎道徳教育を推進し、基本的な生活習慣や規範意識、学習規律を育成するとともに社会貢献に資する精神を育む。</p> <p>◎学校行事や学級活動など、体験的な活動を通して「誠実で、思いやりがあり、個性豊かな生徒」を育て、主体的に進路を選択する力を育成する。</p>	<p>◎「学び合いの授業」を通して、生徒の関心・意欲が高まる授業の工夫・改善をし、生徒の学びの定着を支援する。</p> <p>◎「きのくに学力定着フォローアップ」事業を活用して、若手教員の授業力向上をはかる。</p>

取組の状況【D】	<p>◆「ぐるりんメール」とホームページを活用して学校の予定や様子を頻繁に発信することで、家庭との連携を密にする。</p> <p>◆小中連携、共育コミュニティ事業等を通して、本校教育への理解と協力を得る。</p>	<p>◆生徒実践目標「あ（挨拶）、そ（掃除）、べ（ベル着）」の指導を徹底する。</p> <p>◆「学び合いの授業」などを通してグループ学習を実践し、より望ましい学級・学年集団づくりを進める。</p> <p>◆ゲスト・ティーチャーの活用や体験的な学習から多くを学ぶ。</p>	<p>◆「学び合いの授業」実践により授業についての研修を深め、授業改善をはかる。（毎月1回水曜6限に公開授業）</p> <p>◆定期考査に合わせて、放課後補充学習を実施する。</p> <p>◆読書タイムを充実させることで活字に触れる機会を多くする。</p>
取組の成果と課題【C】	<p>■メールとHPの活用により、5年間情報提供を続けている。アンケートでは依然高い肯定評価を得ているが、やや低下気味である。</p> <p>■科学技術部・美術部・吹奏楽部など、西脇・八幡台両小学校での活動、地域高齢者施設への訪問、地域神社への奉納等々、多くの活動を展開している。</p>	<p>■「挨拶・掃除・ベル着」は、生徒の意識に定着しているが、一部の生徒が実行できていない。</p> <p>■「学び合いの授業」実践で協働的な学びが定着してきている。</p> <p>■毎年実施している「留学生による国際交流授業」など、充実した取り組みができていますが、新しい企画も必要。</p>	<p>■月一回の公開研究授業（各教員が一人一実践）が今年も実施でき、同時に授業後の研究協議もできた。</p> <p>■「きのくに学力定着フォローアップ」事業で12回の指導訪問が実施でき、若手教員の授業力向上をはかれた。</p> <p>■補習・読書タイムは改善が必要</p>
改善方法【A】	<p>○メールは継続、HPは再考</p> <p>○コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置し、共育コミュニティの活動と関連させながら、従来行事に取り組み。</p> <p>○学校行事への保護者の参加を促す。</p>	<p>○「あ・そ・べ」の指導を継続する。</p> <p>○教科「道徳」の本格実施に向けて、研修を充実させる。</p> <p>○「学び合いの授業」で「学年・学級づくり」を意識したよりよい学習集団づくりを目指す。</p>	<p>○「学び合いの授業」研修を継続することで、学ぶ楽しさを追究できる授業づくりを推進する。</p> <p>○「朝の読書」「テスト前補習」の充実をはかる。</p> <p>○「きのくに学力定着フォローアップ」事業の活用で若手教員の授業力向上をはかる。</p>

3 その他の課題

「学び合いの授業（学びの共同体）」に取り組んで3年が経過したことをふまえ、反省と課題を明確にして新たな方略でこのプロジェクトを継続したいと考えている。グループ学習による授業改善は、新学習指導要領の核心部分でもあり、本校の「集団づくりから学力向上を目指す」という方向性とも一致している。同時に、WYSH教育、Q-U活用Gアプローチ授業なども含めてより一層「子ども達の居場所と出番のある学校」生活を保障できる学校運営を目指したい。

また、生活指導面でも学習規律や意欲などでの困難さは十分に解消されているとは言えない。生徒会活動や学級活動、判別自主活動などを通して、子供達に成功体験を積みせ、自主的・自律的な学校風土を構築するような取組を模索していきたい。